

問

第4期総合計画に基
づき、昨年度は「幕
別町都市計画マスタープラ
ン」が策定され、発展的農
村都市を目指すまちづくり
が進められていることは誠
に喜ばしい限りである。

本町は農業を基幹産業と
して、しかも恵まれた自然
環境を背景に発展してき
た。特に平坦な十勝平野の
中で、丘陵地が波状に広が
る農地とその地形は本町
の特徴でもあり、富良野方
面の農村景観を彷彿させて
くれる。また、近年の農業
技術の飛躍的な発展と農
家個々の血のにじむ努力
により、畑には雑草がなく、
見事な農地を形成し、その
広大で鮮やかな作物生育
の景観は訪れる人々や車窓
から眺める人々に感動を
与え、心を和ませてくれる。

しかし残念なことに、8
月頃には町道の路肩斜面部
にヨモギやアカザ、イタド
リ等の長大雑草がはびこ
り、せつかくの農村景観に
影を落とし、決定的なダメ
ージを与え、しかも、交通
安全上憂慮すべき状況とな
っている。

そこで、農村と都市の一
体化、調和のとれたまちづ
くり計画の具体化に向け、
町道愛護組合等を設立し、
農家の方々の協力と町財政
支援のもとで、町道の路肩
の草刈り、特に機械で対応
できない部分については非
実施すべきと思うが、町長
の考えを伺う。

地域との協働により、農 村主要町道の草刈りを

伊 東 昭 雄 議 員



町道路肩の雑草がなくなれば、もっとすばらしい景観になるのだが

町長 本町は農業を基幹
産業とし、しかも恵まれた
自然環境を背景に「自然と
調和した快適で住みよいま
ち」を基本目標にまちづく
りを進めている。

農村主要町道用地の草刈
りについては、交通安全の
確保のために、23路線11
8 kmを年3回、その他16
3路線347 kmを年2回実
施している。この他に交差
点やカーブ等で見通しが悪
く、交通安全上危険と思わ
れる箇所については、随時
パトロールを行う中で対応
している。

こうした中、郡部路線は
全て機械刈りで行っている
ことから、路肩及び道路側
法面のみ実施をしており、
機械の構造上、反対側法面
については実施できない状
況にある。

景観を大事にするという
観点から、機械で対応でき
ない部分を手で刈ることに
ついては、農村部の町道は
大変距離があるだけになか
なか大変であり、また、大
きな費用がかかることか
ら、やはり地域の皆さんの
協力を得られるかどうか

大事であると思う。
地域との協働、愛護組
合、あるいは実行委員会の
設置、さらには、どの辺の
範囲までが町として、道路
管理者としてやらなければ
ならない仕事であるのかど
うかといったことも含め、
公区長会議等の機会を通じ
ながら、あるいは地域に出
向いた特にいろんなご意見
を伺う中で、これから対応
していかなければならない
と思っている。

